

1. 基本情報

- (1) 国名：ネパール連邦民主共和国（以下、「ネパール」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
カトマンズ市，バラトプール市，ラリトプール市，バクタプール市，シュクラガンダキ市，ダラン市，バンケ郡，チャンダナト郡（計約229万人）
- (3) 案件名：公立高次病院医療機材整備計画（The Project for Improvement of Medical Equipment in the Advanced Public Hospitals）
- (4) 計画の要約：
本計画は、ネパール国内の複数の公立高次病院に対し、医療機材を整備することにより、主に非感染症疾患患者の診断・治療体制の強化を通じた保健医療サービスの質の向上を図り、もって同国の貧困削減及び生活の質の向上に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ネパールは、インドと中国の間に位置しており、同国における民主主義の定着、安定と繁栄は、政治的・経済的に重要な南アジア地域全体の安定を確保する上で重要である。かかる観点から我が国は、長年主要ドナーとしてネパールを支援している。

我が国は同国の保健・医療セクターに長年に亘り協力を行っており、ネパール政府は同分野における日本の支援実績を高く評価している。本計画は、公立病院への支援を通じて貧困層を含む患者の疾患を早期に発見することに繋がり、人間の安全保障の理念を反映した「誰一人取り残されない」社会の実現に向けた案件であり、SDGs ゴール3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」に寄与することが期待される。また、本計画実施により、同国の保健・医療セクターにおける我が国の継続的なプレゼンスを確保することとなる上、二国間関係の更なる強化にも資する案件であり、その実施の外交的意義は高い。

- (2) 当該国における保健・医療セクター開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ネパールは、南アジア地域の最貧国であり、人間開発指数は189か国中149位（UNDP, 2018年）に位置し、基礎的な社会サービスである保健医療分野に多くの課題を抱えている。同国政府の第14次3か年計画（2016/17-18/19）では、「すべての国民に対して、基礎保健サービスから高次医療サービスに亘って質の高い医療を提供する」ことが目標として掲げられ、ネパール政府は「保健セクター戦略（2015年～2020年）」（Nepal Health Sector Strategy。以下「NHSS」という。）を策定し、保健セクターの課題解決に取り組んでいる。

特に、NHSSの重点戦略の一つとして、国内の感染性疾患から非感染性疾患（Non-Communicable Diseases。以下「NCDs」という。）への疾病構造変化への

対策が挙げられる。心臓病，糖尿病，がん，呼吸器系疾患等の NCDs を死因とする死亡者数は 2018 年には全体の 66%を占め，感染症による死亡者を上回っている。中でも 2015 年から 2018 年の間に高血圧の患者は 46%増加して約 23 万人，糖尿病は 71%増加して約 20 万人，呼吸器系疾患は 15%増加して約 40 万人となっており，急速な都市化等に起因する貧困層での罹患を含め，NCDs に対する取組はネパール政府にとって喫緊の課題となっている。しかしながら，NCDs の専門診断・治療を担う公立高次病院は，全国から患者が搬送され，外来・緊急患者を受け入れることのできる第三次医療機関であるにもかかわらず，必要な医療機材の不足や老朽化により，対 NCDs の医療の提供が不十分な状況に陥っている。

本計画は，公立の高次病院を対象に医療機材を整備するものであり，国家医療保険プログラムにより導入された保険制度により，貧困層は公立病院で低額の負担で受診できるため，貧困層に裨益する事業である。また，NHSS 達成において優先度の高い事業として位置づけられるとともに，我が国の対ネパール国別開発協力方針の重点分野「貧困削減及び生活の質の向上」にも合致する。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

協力準備調査で詳細を確認するが，現状は以下を想定。

ア) 機材等の内容

核磁気共鳴装置 (MRI)，CT スキャン，デジタル X 線撮影装置等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計，入札補助，調達監理

② 期待される開発効果

対象医療機材による検査回数の増加 (MRI 検査回数：0→800 回/年/病院，CT 検査回数：0→1200/年/病院) に伴い，発見される疾病数の増加 (目標値等は協力準備調査で検討) とともに，対象病院での診断・治療体制の強化による医療サービスの質向上への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制

保健人口省 (Ministry of Health and Population)

④ 他機関との連携・役割分担 特になし。

⑤ 運営／維持管理体制 保健人口省及び対象病院が機器を適切に活用するための予算措置や調達，機器の維持管理を行う。

その他特記事項

- ネパールの公立高次病院は全国で 18 病院あるが，そのうち公務員・軍関係者が主な患者である 3 公立病院，無償資金協力「トリブバン大学教育病院医療機材整備計画」で類似機材を整備済みであるトリブバン大学教育病院を除く第三次医療機関を調査対象とする。協力準備調査の中で対象病院のうち，維持管理担当者の技術的習熟度に加えて，維持管理体制及び政府からの予算配布状況等を確認して，最終的に対象病院を絞り込む予定。
- 本事業の対象に乳がんなど女性特有のがん診断が可能な産婦人科病院も候補

として含まれていることから、「ジェンダー活動統合案件」に分類する。

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

過去の保健セクターにおける類似案件の評価等では、事業対象病院の維持管理に係る不十分な体制及び予算の不足により、整備機材の適切な維持管理が行われなかったことが指摘された。医療機材を整備する際は、維持管理担当者の技術的習熟度だけでなく、その人数や体制及び中央政府からの維持管理予算の配賦状況を確認することが重要との教訓を得ている。

本計画では、これら教訓を活かし、協力準備調査において維持管理担当者の技術的習熟度や維持管理体制、ならびに保健人口省からの予算配布状況等について確認し、本計画の対象となる病院の選定を行う。

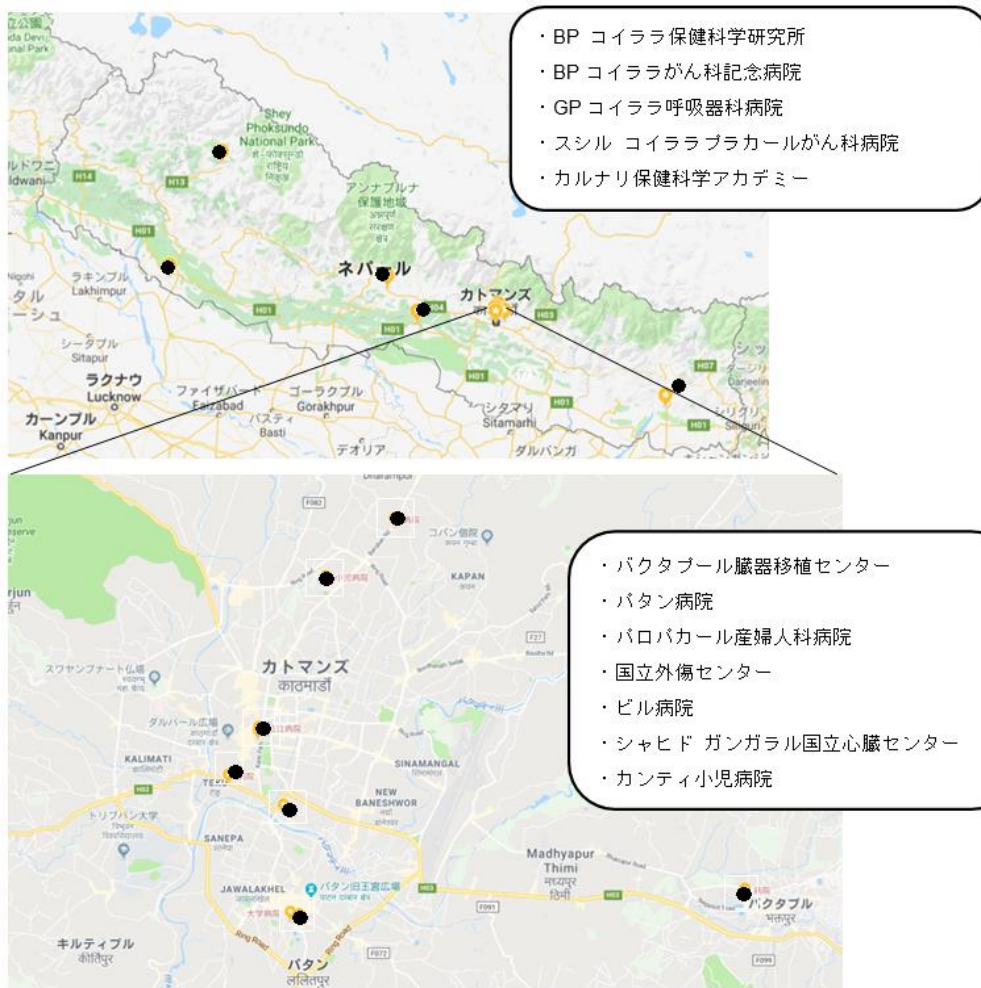
以 上

[別添資料] 地図

公立高次病院医療機材整備計画 地図



主な調査対象病院



出典：Google Map